

中期計画 番号	中期計画／年度計画／部局の実行計画	担当理事／担当部局	達成水準
I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置			
1 教育に関する目標を達成するための措置			
(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置			
004	<p>学士課程教育の内容・成果に関する具体的方策</p> <p>4) 学士力を保証するため、シラバスの充実、GPAの活用などの単位制度の実質化に向けた諸方策や到達度把握による学習評価など、学士課程における学習成果を総合的に判断する仕組みを整える。</p>	教育・学生担当理事	<p>学士課程における学習成果を総合的に判断する仕組みが、全学的に導入されている。</p>
	①引き続き、大学教育委員会はシラバスの充実やGPAの積極的な活用などを通じた単位制度の実質化を進める。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 「単位制度の実質化」に向けた、シラバスのさらなる充実やGPAの積極的な活用の取組状況
	④シラバスの充実を支援するため、シラバスに掲載された参考図書を附属図書館に整備し、整備状況を報告する。	附属図書館	整備図書冊数及びリスト
(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置			
013	<p>教育環境の整備に関する具体的方策</p> <p>1) ICTを活用した教育環境を整備し、自学自習スペースを充実する。</p>	教育・学生担当理事	<p>・ICTを活用した授業外の自学自習用コンテンツを提供し、学生が積極的に利用している。</p> <p>・現在あるすべての自学自習室の情報環境が充実している。</p>
	②引き続き、各学部等及び附属図書館は自学自習スペースの充実について検討し、必要に応じて対策を講じる。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 自学自習環境スペースの充実および附属図書館の学習環境整備・充実状況
	③22年度に実施したアンケート結果を踏まえ、附属図書館における学習環境の充実・整備について検討し、必要に応じて対策を講じる。	附属図書館	附属図書館の学習環境整備・充実状況
(3) 学生への支援に関する目標を達成するための措置			
016	<p>2) 学生の生活支援、社会活動支援などを充実するとともに、学生のメンタルヘルスクアを強化する。</p>	教育・学生担当理事	<p>・経済的理由により修学を途中で断念(退学、除籍)する学生が少なくなる。</p> <p>・課外活動やボランティアへの積極的参加を支援する体制が充実している。</p> <p>・本学の就職支援に対する信頼度ないし満足度が向上している。</p> <p>・学生相談員等による学生相談・カウンセリングにより健康生活の支援を受けることができる。</p>
	①前年度の学生支援室による検証・検討の結果に基づき、生活支援策を策定し、実施する。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 大学独自の生活支援策の策定と予算化計画。
	④①学生の自主的な参加を得て、引き続き学生選書委員会を組織し、選書ツアー等の読書奨励企画を実施する。 ②学生の自主的な参加を得て、九州地区大学図書館が協同で開催する「Library Lovers' キャンペーン 2011」を実施する。	附属図書館	①実施報告 ②実施報告
	③キャリアセンターは正課外のキャリアガイダンスの充実に取り組む。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 新規の就職支援活動についての検討状況及び就職活動支援の取組の充実状況
	⑤学生の就職活動を支援するため、関連する図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	①整備図書冊数及びリスト
3 その他の目標を達成するための措置			
(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置			
026	<p>1) 集積した知的リソースをシーズマップとして公開し、社会の要望に的確に応えるシステムを構築する。</p>	研究・国際・社会貢献担当理事	<p>・社会の要望に的確に応えるシステムが構築されていること</p> <p>・企業訪問などから具体的な成果が得られていること</p>
	①引き続き、シーズマップの充実と公開を進め、地域ニーズとのマッチング課題を解決するために必要な機能を検討し、体制の整備を図る。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・シーズマップの充実と提供状況 ・マッチングの課題解決に向けて、産学官連携推進機構と地域貢献推進室の再編検討委員会の設置と構想の策定。
	④引き続き社会貢献事業の一環として、11月に図書館月間を実施し、講演会・展示会等を開催する。	附属図書館	開催記事を掲載した図書館報等
(2) 国際化に関する目標を達成するための措置			
029	<p>2) 国の「留学生30万人計画」を視野に入れ、質の高い留学生を受け入れるための環境(入学、学習、生活、就職)を整備する。</p>	教育・学生担当理事	<p>・質の高い留学生が在籍し、日本人学生との交流が増加している。</p> <p>・個人レベルに応じ、実践的な場面で使うことのできる日本語教育が実施されている。</p> <p>・私費留学生向けの奨学金が安定的に給付されている。</p> <p>・留学生用宿舍の確保と増加がなされている。</p> <p>・日本企業への就職が広がっている。</p> <p>・留学生向けの効果的なキャリア教育が実施されている。</p>
	②平成21年度後学期から改訂した留学生用日本語カリキュラムを検証し、更に充実させる。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 留学生用カリキュラムの充実、質の向上強化の状況
	④留学生に対する日本語教育を支援するため、関連する図書を附属図書館へ整備する。	附属図書館	整備図書冊数及びリスト
IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置			
2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標を達成するための措置			

中期計画 番号	中期計画／年度計画／部局の実行計画	担当理事／担当部局	達成水準
057	1)社会、ステークホルダーに適した方法により、教育研究活動や大学運営に関する情報を効果的に発信する。	企画・財務・労務担当理事	ステークホルダーごとに適した方法により大学情報が発信されていること。
	②広報対象者を明確にし、効率的・効果的な情報発信を行う。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 情報の加工と発信内容
	④継続して教育研究活動を社会に発信することを支援するため、本学の機関リポジトリの登録数を増やす。	附属図書館	登録レコード数
V その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置			
2 安全管理と環境に関する目標を達成するための措置			
060	1)学生、教職員の安全確保を図るため、防災対策や安全に配慮した環境づくりに組織的に取り組む。	医療担当理事	労働安全衛生法に基づく「安全」と「衛生」及び防災対策に関する各種の取組みが行われ、安全な職場環境並びに安全なキャンパス環境が確保されていること。
	①引き続き、講習会等による安全衛生の啓発、作業環境測定に基づいた環境整備など、安全衛生に関する全学的な取り組みを推進する。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 各種取り組みの実績
	②安全衛生管理委員会及び各事業場の安全衛生委員会が実施する講演会や学内外での安全衛生に関する講習会等への職員の積極的な参加を促し、安全衛生の啓発を行う。	附属図書館	各種取り組みの実績
	②引き続き、災害、事件・事故等に備えるため、防災訓練等を実施するとともに学生に対して「安全の手引き」を周知する。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・年間計画表の作成 ・計画的に防災訓練等が実施されていること。 ・安全の手引きの周知状況
④引き続き、災害、事件・事故等に備えるため、防災訓練等を実施する。	附属図書館	・計画的に防災訓練等が実施されていること。	
061	2)「エコアクション21」の環境活動を通して大学における環境マネジメントシステムを確立する。	医療担当理事	「エコアクション21」に沿った各種の環境活動の展開により全学的な環境マネジメントがシステムとして構築していること。
	②引き続き、学生・教職員に対する環境教育を推進するとともに、学生による「エコアクション21」の取り組みを支援する。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 環境教育の推進と学生の取組に対する支援状況
	④学生・教職員に対する環境教育の推進を支援するため、関連する図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	整備図書冊数及びリスト
3 情報基盤の強化に関する目標を達成するための措置			
062	1)情報基盤のセキュリティ強化のため、規程等の整備、技術的セキュリティ対策及び教育を継続的に行う。	研究・国際・社会貢献担当理事	平成19年11月策定の「佐賀大学セキュリティポリシー(改訂版)」に基づいて設定した、各年度の計画が、着々と実施されていること。
	①セキュリティを強化するために、引き続き、情報リテラシー・セキュリティ講習会の開催、情報セキュリティポリシーの見直し、規程等の整備等を行う。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) 取組実績
	④情報セキュリティ・リテラシー教育を支援するため、関連する図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	整備図書冊数及びリスト
4 男女共同参画の推進に関する目標を達成するための措置			
063	1)男女共同参画の基本方針を踏まえ、男女共同参画を推進する体制を整備し、教育研究環境の整備を進める。	企画・財務・労務担当理事	男女共同参画を推進する体制が整備され(委員会設置等)、行動計画を策定し、それに沿った取組が実行されていること。
	①本学の女性研究者支援事業の成果の検証に基づき、今後の男女共同参画事業の在り方を検討し、全学的な男女共同参画推進体制の見直しを行う。また、本学の男女共同参画基本方針に沿って、ワークライフバランスに配慮した働きやすい環境整備を進める。		(年度計画の達成を証明する根拠イメージ) ・女性研究者支援事業の成果の検証結果 ・男女共同参画事業の在り方の検討実績 ・全学的な男女共同参画推進体制の見直し結果(男女共同参画室あるいはそれに同等する組織) ・基本方針に沿った行動計画 ・働きやすい環境整備の実績
	④男女共同参画の推進を支援するため、関連する図書を附属図書館に整備する。	附属図書館	整備図書冊数及びリスト